

総務常任委員会

令和5年度幸手市一般会計 歳入歳出決算の認定 (議案第65号)

問 ふるさと納税寄附金1579万6千円とあるが、その使途について、また、他市においては、子育て支援に使われているなど、ホームページへの掲載が見受けられます。こうした事例を一例でも二例でも公表すること、ふるさと納税をする方も増えていくのではないかと思いますがいかがか。

答 ふるさと納税寄附金については、その使途についての意向がなければ、市の全体の事業で使わせていただくことになり、その使い先の掲載はしていない。ご意見として頂いたように、ふるさと納税を推進していく上では、ご自身が寄附をしたものが、こういったものに使われているのか、というのを示すことができれば、推進へとつながっていくものと思われるので、今後の検討とさせていただきます。

問 しあわせ家族ウエルカム補助金380万円の内容はどのようなものか。

答 この補助金は、若年層の定住促進を図る観点から、40歳未満の若年夫婦が市内に転入し、市内において初めて住宅を取得する際に生じる費用の一部を補助するものです。令和5年度については、合計で20件の補助をしているが、その内の18件が満額となる20万円の補助をしており、残りの2件は12万9千円と7万1千円の補助をしている。

令和6年度幸手市一般会計 補正予算(第4号) (議案第82号)

問 固定資産税4千万円の増額理由について伺う。

答 当初予算では、納税義務者数を2万459人、調定額として30億2244万7200円、徴収率を前後3年の平均99・38%として、30億370万円を

予算編成した。その後、5月に当初課税を行い、納税義務者数を2万555人、調定額として30億6269万7千円、これに徴収率99・38%を乗じて、30億4370万円を予算額とした。この差引分の4千万円を補正予算として計上したところである。

増額の要因として、家屋については、当初予算で評価替えに伴う経年減少を見込んでいたが、予想より少なく、評価額の据置きや新築家屋の評価額が見込みを上回ったこと、また、償却資産については、当初、景気の動向を考慮して計上した額を上回ったことによるものである。

問 ふるさと納税事業業務委託料1615万9千円の増額理由について伺う。

答 ふるさと納税の寄附金が増えている状況のなかで、今回、歳入においても、ふるさと納税寄附金の増額補正を計上している。寄附の件数が増えることで、委託業者の1件あたりの費用が掛かるため、委託料を増額補正としたものである。

問 学校教育施設整備基金積

立金の1億円は、統廃合に関するものと説明を受けているが、その内容について伺う。

答 今後の再編方針として、さかえ小学校を上高野小学校に統合し、八代小学校、権現堂川小学校、吉田小学校の3校を東中学校に統合することで、校舎の増築等やエアコンの設置など多額な経費が見込まれることから、積立を行うものである。

恐喝傷害事件の調査特別 委員会を設け事実解明を 求める請願書(請願第3号)

問 請願趣旨に「藤沼議員は幸手市から告発された」と書かれているが、藤沼議員は幸手市から告発されたか。また、これは事実とは違うのではないか。

答 幸手市の職員から告発されたという事である。告発の経緯を見れば、告発するという市の了承を取って幸手警察署に行っているわけであるから、広い意味で、幸手市が告発を了承していたという点で言えば、幸手市からと言っても間違いではないかと考えている。(請願書紹介議員)

文教厚生常任委員会

令和5年度幸手市一般会計 歳入歳出決算の認定 (議案第65号)

問 緊急通報受付業務委託料の設置件数と緊急通報された件数は。

答 設置台数については、令和6年3月末時点で45件であり、通報された件数については15件である。

問 香日向汚水処理施設補修工事は今後の下水道への接続に向けた工事も含まれているのか。

答 下水道への接続に向けた工事は含まれていない。主に不具合や定期点検といった工事になる。

問 想定浸水深標示業務委託料は、外水、または内水のどちらを想定しているのか。

答 外水を想定しており、利根川決壊を想定した形での浸水標示をしているものである。

問 給食用小荷物専用昇降機定

期点検業務委託料とは。

答 全小学校に1台ずつ設置されており、1台当たりの単価は4580円となる。

令和5年度幸手市介護保険 特別会計歳入歳出決算の認定 (議案第68号)

問 保険給付費の福祉用具給付費及び住宅改修給付費は業者から申請書が提出されるが、その金額の適正さはどのように判断されているのか。

答 金額の適正さについては、提出された見積書と添付された理由書を介護福祉課で確認し、国の指針で示しているハンドブックに基づいて決定をしている。

幸手市国民健康保険条例の 一部を改正する条例 (議案第73号)

問 今回の条例を一部改正する議案提案理由とは。

答 法律の改正に伴い、令和6年12月2日以降、新規の被保険者証が発行されなくなる。その後、マイナンバーカードと健康保険証が一体化されたマイナ保険証、あるいは資格確認証をこれまでの被保険者証の代わりに使うこととなる。これに併せて、この条例上で過料が設定されているが、短期被保険者証自体が廃止されるため、返還を求められるような事態もなくなる。今回の条例では、そのような起こり得ない状況を削除するというものである。

幸手市家庭的保育事業等の 設備及び運営に関する基準 を定める条例の一部を改正 する条例 (議案第74号)

問 条例改正にて改正前が3歳児から4歳児に対して20人になるが、改正後は15人に1人になるが、幸手市の運営している保育所もこの対象になるのか。

答 幸手市が運営している保育所もこの条例の対象になる。

令和6年度幸手市一般会計 補正予算(第4号) (議案第82号)

問 交通安全対策費の路面標示設置工事300万円の工事内容は。

答 今後の執行にあたり予算の不足が見込まれる。今回の内容については、外側線の標記やグリーンベルトの敷設といったものである。

問 在宅重症心身障害児等の家族に対するレスパイトケア事業補助金72万円は当初予算と合せていくらになるか、また増額理由は。

答 今回の補正額と合わせると、合計144万円になる。この制度は在宅で介護をするご家族の精神的、身体的な負担を軽減することを目的とするものであり、今後申請数が増えたときに不足が生じないよう、必要な額を予算計上したものである。

問 香日向汚水処理施設補修工事の内容とは。

答 中継ポンプの更新工事が314万6千円、汚水揚水ポンプの配管更新工事が49万5千円である。

建設経済常任委員会

令和5年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定について (議案第65号)

問 戦略的作物推進事業補助金の内容について伺う。

答 需要のある作物や付加価値の高い作物を生産する農家に対して市から補助金を出しているものである。出しているものとしては、加工用米、飼料用米、米粉用米が1袋当たり500円以内、麦・大豆・飼料作物が10アール当たり1千円以内、特別栽培米が10アール当たり1千円以内というものである。

令和5年度幸手市水道事業会計決算の認定について (議案第71号)

問 幸手市の令和5年度の配水をして有収に至らなかったロスはどれぐらいなのか伺う。

答 消火栓で使ったもの、ある

いは配水管がある。

配水管は定期的に水を使用し、掃除しなければならぬ。掃除を行うと水が濁ってしまうため、その濁った水は市民にはお届けできない。このため、途中にドレンという排水口が設けられており、そこから濁水を排出する仕組みがある。

したがって、漏水と認定されるような無効水量が32万立米程度、金額にして4850万円程度になるが、毎年2つの大きな漏水調査を実施している。



市道路線の変更について (議案第79号)

問 44号線の場合は、宅地の一部区間を認定していたが、終点を短くして市道とするという認識で受け止めているが、こうい

う変更が必要になった理由、境界線はどのようにして判断されるのか伺う。

答 道路台帳を適正なものにするということで調査していたところ、こちらの部分が、幸手市の土地が今回の矢印のところまでであり、その先は個人の敷地である。

正確には宅地の敷地までが市道ですので、終点は正式な幸手市の土地のところまでに修正させていただくというものである。

市道路線の廃止について (議案第80号)

問 一部は私道として認定され、一部は市道として認定されるということになると、そういう判断というのがどういう基準でなされたのか伺う。

答 こういった道路を認定したのは、昭和56年に道路台帳を作りました。今回こういうものが見つかりましたので、それは認定しておくべきものではない。本来の形に私道ということですので認定は外させていただき、

今後こういうものが見つかれば、その都度修正はしていきたいと思っています。



令和6年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号) (議案第86号)

問 繰入金が減になったので、事業の執行に影響を及ぼす。そこを賄うために一般会計から繰入れるということか伺う。

答 社会資本整備総合交付金の内示率が低かったということ、事業を進捗していく上で、先延ばしできるものについては、区画道路を500万円減額させていた、先送りできるものは先送りしたが、残りについては、どうしても今年進捗を行いたいということで、その補填分を一般会計繰入金で補填させていただいたものである。